



フィリップ・プロスト(フランス)
作品「ノートル・ダム・ド・ロレー国際メモリアル」
2016-2017年度 デダロ・ミノッセ国際建築賞



ルイス・アルトゥーロ・ガルシア(メキシコ)
作品「メステイトラの住宅」
2016-2017年度 デダロ・ミノッセ国際建築賞Under40



芦澤竜一
作品「Factory in the Earth」
2016-2017年度 特別賞



マティアス・フラッツィ(アルゼンチン)
作品「パセオ・デ・ラ・プレチャ博物館」
2016-2017年度 入選



審査員総括
窪田勝文
(2016-2017 審査員)



ALA建築協会より、窪田氏と社長の丸山が名誉会員に認定されました。

デダロ・ミノッセ国際建築賞は、イタリアのヴィチエンツァで1997年に設立。「優れた建築には良き発注者と素晴らしい建築家の双方の存在が必要である」という理念のもと、建築家だけでなく発注者も表彰されるという世界でも類稀な賞です。4月13日(金)、イタリア文化会館で行なった講演会「受け継がれる建築のために」では、4名の受賞建築家が自身の作品プレゼンテーションを披露しました。

基調講演
古谷誠章

(早稲田大学教授/
2017年日本建築学会会長)

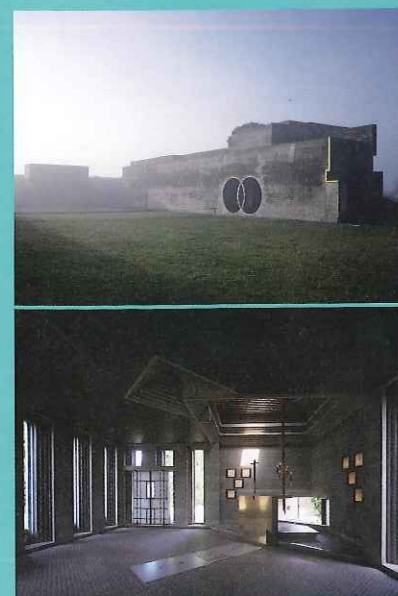


ASJ創設15周年記念

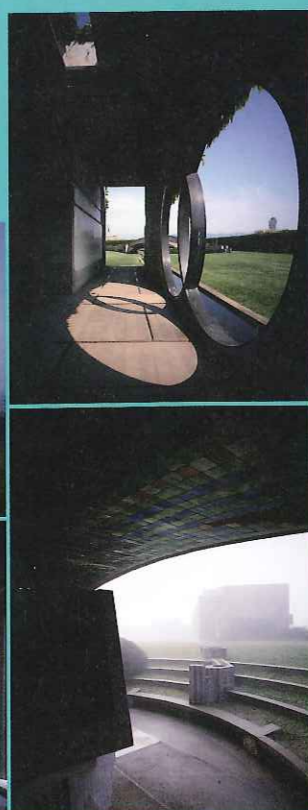
第2回 | デダロ・ミノッセ国際建築賞 | 日本巡回展

おかげさまでアーキテツ・スタジオ・ジャパンは創設15周年を迎えました。それを記念し、4月に「デダロ・ミノッセ」の日本巡回展と講演会を開催。建築に関心のある幅広い世代の方がお越し下さり、盛況のうちに終了いたしました。ASJは建築家の活躍の場をひろげて頼れる身近な存在にするべく、今後も全国各地でイベントを開催し、建築家との家づくりに関する情報と機会を提供してまいります。

建築写真家・関谷正昭氏の撮影による、イタリアの巨匠「カルロ・スカルパ」の建築作品写真展を同時開催。2002年、スカルパ作品の撮影中に倒れた関谷氏が遺した、イタリアの空気を感じるような写真の数々をご紹介します。



「プリオン・ヴェガ墓地」 設計 | カルロ・スカルパ 撮影 | 関谷正昭



4月7日(土)~18日(水)
にASJ TOKYO CELLにて開催した展示会では、2016-2017年度の受賞作品を、パネル展示と映像にてご紹介しました。

